

しまね **労福協ニュース** 2019 新年号 No.408

発行／一般社団法人 島根県労働者福祉協議会
 発行人／松本 敏和
 〒690-0007 松江市御手船場町 557-7
 TEL 0852-23-3302 FAX 0852-23-3303
 ホームページアドレス：http://shimane.rofuku.net/
 E-メール：rofuku@gaea.ocn.ne.jp
 発行月（6・10・1・3月発行）



年頭あいさつ

一般社団法人 島根県労働者福祉協議会
理事長 成相 善朗

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、全国各地で地震、集中豪雨、台風などの災害が発生し多くの方が亡くなり被災されました。心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。また、復旧復興にご尽力いただいている皆様に敬意を表します。

さて、昨年は労福協の柱の一つでもある社会的連帯を深める運動として、この間取り組みを進めてきた給付型奨学金制度が4月から本格実施されました。第一歩として評価できますが、「有利子から無利子へ」「貸与から給付へ」など対象や金額がまだ不十分であり、アンケート調査の取り組みなど大幅な拡充に向け運動を継続していきます。また、6月に生活困窮者自立支援改正法と消費者契約改正法が成立しました。経済的に困窮する単身者や年金だけでは最低限度の生活を維持できない高齢者が増加し、生活保護を受ける半数以上を高齢者世帯が占めています。生活困窮者自立支援法の改正では、新設された基本理念に「尊厳の保持」「地域社会からの孤立への対応」など支援を通じた地域づくりの視点が盛り込まれ、いままでも任意事業であった「就労準備支援事業」「家計改善支援事業」が努力義務化され、

子どもの学習・生活支援事業や居住支援についても強化されました。生活困窮者自立支援事業は、人が人を支えることを根幹とする制度です。社会から貧困をなくす運動を進めるうえでも、生活保護基準の見直しへの対策と併せて、島根県への要請活動などを通じて、自治体の支援と制度の拡充に向け取り組みを進めていきます。「働き方改革法」や外国人の受け入れを拡大する「出入国管理及び難民認定法」が強行採決され、本年は消費税増税が実施される年になります。働く環境の変化とともに貧困や格差はより深刻化し、社会の中での分断や多様性を否定する動きも強まり、混沌とした社会に入っていきかねません。

このような状況の中で、組織を超えて「福祉はひとつ」で結成した労福協の初心に立ち返り、福祉に関わる政策制度改善と社会運動の強化、自主福祉運動を両輪として進め、改めて非営利団体であり、私たちが作り出した労働金庫・全労済の協同組合活動の必要性を共有していかなければなりません。

中央労福協は、本年、結成70周年を迎えます。「労福協の理念と2020ビジョン」の検証と見直しの協議を進め、新たなビジョンの策定に向けて組織討議を開始し、意見集約を行いながら11月の定期総会で決定する予定です。島根県労福協としても、情報提供と議論を行っていきます。「連帯と協同でつくる安心・共生の福祉社会」のさらなる前進に向け、ライフサポート事業、就労支援事業、協同事業団体との連携などいままでのネットワークをさらに充実・強化させ、お互い支えあう地域共生社会の構築に向けて取り組んでまいります。

会員の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。本年もよろしくお願いたします。

島根県民のしあわせづくりのため果敢にチャレンジします。 会員各位のご活躍とご多幸を祈念します。

事業団体等



中国労働金庫島根県営業本部 本部長
岩田 学



全労済島根推進本部 本部長
島根県生活協同組合連合会 会長理事
矢倉 淳



連合島根 会長
仲田 敏幸

地区会長

 安来地区 労働者 福祉協議会 会長 原田 進一	 松江地区 労働者 福祉協議会 会長 乗本 克己	 雲南地区 労働者 福祉協議会 会長 細木 勝	 出雲地区 労働者 福祉協議会 会長 釜屋 忍	 大田地区 労働者 福祉協議会 会長 柿田 賢次
 江津地区 労働者 福祉協議会 会長 道下 学	 邑智地区 労働者 福祉協議会 会長 安田 茂樹	 浜田地区 労働者 福祉協議会 会長 岸本 武士	 益田地区 労働者 福祉協議会 会長 原田 進哉	 隠岐地区 労働者 福祉協議会 会長 長田 寿幸

監事

編集委員 小椋 勇太郎

片寄 幸正

松本 敏和

大坪 清美

景山 誠

長田 寿幸

原田 進哉

岸本 武士

清重 勝也

安田 茂樹

柿田 賢次

浅津 智一

細木 勝

乗本 克己

福島 真吾

原田 圭介

坂下 貴英

井本 寿弘

細木 芳治

島田 政己

福間 三郎

仲田 敏幸

矢倉 淳

岩田 学

成相 善朗

中国労働金庫

全労済

中国労働金庫

全労済

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

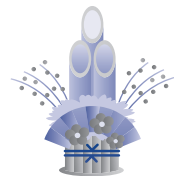
中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

中国労働金庫

本年も宜しく
お願い申し上げます。



(敬称略)

労福協の退職準備セミナー

どうなる公的年金！始めよう退職後生活の備え！

2018 ライフプランセミナー開催



菅野 美和子 講師

「どうなる公的年金！始めよう退職後生活の備え」をテーマに、県内で働く勤労者のための退職前セミナーを県内3会場で開催し、昨年を上回る参加者がありました。講師の菅野美和子社会保険労務士から公的年金の制度・仕組み、60歳以降の高年齢者雇用継続給付金、在職老齢年金、退職後の健康保険について等分かりやすく説明を受けました。地区労福協の皆さんには、市広報への広告掲載やセミナー参加を働きかけていただき、当日の会場準備や閉講挨拶など積極的にご協力をいただきました。参加者アンケートでは、非常に分かりやすい、ある程度理解できたを合わせて92.8%、また、満足、概ね満足を合わせて96.5%に上り満足度の高いセミナーとなりました。「丁寧な説明でとても分かりやすく、他の同種のセミナーよりも理解ができた」、「65歳までに検討すべきことが理解でき、準備にかかろうと思った」、「今後とも継続して実施してもらいたい」等のコメントが寄せられました。

地区	開催日	会場	参加者(人)
松江	9月30日	くにびきメッセ501	125
出雲	9月9日	ニューウェルシティ出雲 牡丹	142
浜田	9月2日	浜田市総合福祉センター	93

働くみんなに、
今こそ確かな安心を。

中退共
CHU
小企業
退職金
TAI
共済制度
KYO

- ◆掛金の一部を国が助成
- ◆掛金は全額非課税
手数料も不要
- ◆外部積立型なので
管理が簡単
- ◆パートさんの加入もOK

詳しくはホームページへ

(独)勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部
TEL.03-6907-1234 FAX.03-5955-8211

2018年度 西部労福協 第37回研究集会開催

テーマ：「持続可能な社会づくりを考える」
～格差・貧困社会の是正と「共助」の役割～



集会の様子



法政大学現代福祉学部
湯浅 誠 教授

西部労福協は、11月8日（木）～9日（金）、高知市において「第37回研究集会」を開催し、中四国から86名が参加しました。島根県からは、松林重雄連合島根副事務局長、原田進一安来地区労福協会会長、浅津智一出雲地区労福協事務局長、片寄幸正中国労金島根県営業本部事務局長、徳原英樹全労済島根推進本部事務局長、福間三郎県労福協専務、松本敏和県労福協事務局長の7名が参加しました。集会冒頭、西部労福協成相善朗会長、地元の折田晃一高知県労福協会会長より挨拶を受け、来賓として高知県商工労働部栗山典久副部长、高知市中澤慎二副市长、四国労働金庫小川俊理事長、全労済中四国統括本部渡邊一雅常務執行役員に出席いただきました。講演内容は、下記のとおりです。

【1日目】

- 〔講演1 労働者自主福祉運動推進の意義と課題〕
講師 連合島根 景山 誠 副事務局長
- 〔講演2 生活困窮者自立支援と地域共生社会〕
講師 高知県立大学社会福祉学部
田中 きよむ 教授

【2日目】

- 〔講演3 高知におけるフードバンク活動等の実践～緊急時のフードバンクの必要性和困窮者への食糧確保、子ども食堂への支援～〕
講師 フードバンク高知 青木 美紀 代表
- 〔講演4 子どもの貧困対策と地域づくり〕
講師 法政大学現代福祉学部 湯浅 誠 教授

参加者は、講演で提起された課題を自らの問題として捉え、各地域での活動に活かしていくことを確認し閉会しました。

島根県知事へ労働者福祉運動の「2019年度島根県政策制度要請書」提出！



12月26日(水)、島根県労福協成相理事長、福岡専務、松本事務局長、連合島根仲田会長、中国労金岩田本部長の5名が島根県庁を訪問し、藤原副知事に「2019年度島根県政策制度要請書」を提出しました。

成相理事長は、「島根県労福協として、県内の勤労者の様々な不安や悩みを解決するため、また福祉の増進を図るための要請事項を取りまとめた。次年度予算編成や政策への反映をお願いしたい」と要請し、続いて、福岡専務が6分野の要請趣旨について説明しました。

藤原副知事は、「県労福協が、くらしサポートセンターの相談活動や、就職サポートセンターの中高年齢者・女性就労支援事業等を通じて、県内勤労者の福祉増進に尽力されていることに敬意を表する。要請趣旨を、予算編成等に当たって考慮していきたい。来年早々に文書をもって回答する」と述べました。

(要請項目と回答内容はHPに1月中旬掲載予定)

要 請 項 目

1. 「労働者福祉運動の育成・強化について」
2. 中高年齢者及び女性の就労支援事業への支援について
3. 「格差・貧困社会の是正、ナショナルミニマムの保障、セーフティネットの強化」について
4. 消費者政策の充実強化について
5. 中小企業勤労者の福祉格差の是正について
6. くらしの安全、安心の確保

《労働会館ご利用のお願い》

平素より労働会館をご利用いただき、誠にありがとうございます。当館のご利用にあたっては、労働組合の皆さまには会員価格でご提供させていただいております。

また、会議室の設営、片付けについては、当館で行っており、番茶のサービスもしておりますので、ご利用いただいたお客様には、大変好評をいただいております。組合の皆さまには定期大会、研修会、執行委員会等のご利用をお待ちしています。

松江駅より徒歩3分、気軽に使える多目的スペースは、各種団体での社内教育、研修会、自治会、パーティーなど少人数での各種催事にご利用いただけます。(冷暖房、マイク使用料は無料)お弁当、飲み物などの持込みOKです。※但し、持込みの空箱、空きビンはお持ち帰りください。

福祉事業団体利用拡大キャンペーンの「各地区労福協の取り組み目標に対する中間実績」報告

各地区労福協の11月末の取り組み実績は下記のとおりとなっており、地区により取り組みの濃淡が顕著になっています。3か月間のキャンペーン実績に基づき、運動の成果と課題を明らかにし、先進地区の成功事例等も参考にしつつ、年度末目標達成に向けてどのように取り組むか、地区労福協・労金部会ならびに労済部会と労金営業店・全労済支所との間で、適宜幹事会を開くなどして現況把握と今後の取り組みについて意思統一をお願いします。

**福祉事業団体利用拡大キャンペーン
取り組み目標 (2018年10月～12月) と11月末実績**

地区名 推進項目	松江	隠岐	安来	雲南	出雲	大田	江津	邑智	浜田	益田	合計
中国労金 有担保 ローン借換え件数目標	13	2	3	1	7	3	1	1	3	2	36
〃11月末実績	3	0	1	0	5	0	0	0	2	0	11
中国労金 無担保 ローン借換え件数目標	80	8	25	12	30	10	7	5	25	10	212
〃11月末実績	12	0	12	11	8	5	0	0	8	1	57
中国労金 会員への 提案活動件数目標	54	10	2	6	34	10	5	3	20	2	146
〃11月末実績	18	10	0	2	30	6	5	7	14	2	94
全労済 こくみん共済 説明会実施回数目標	27	2	4	4	6	4	5	2	10	13	77
〃11月末実績	9	1	1	4	4	3	2	2	5	6	37

中央労福協第8回加盟団体代表者会議開催

11月21日(水)に「ホテルラングウッド」(東京)にて、中央労福協第8回加盟団体代表者会議が労働団体、事業団体、労福協など総勢124名で開催され、県労福協からは福岡専務が参加しました。冒頭、神津会長より「多くの自然災害が発生する中で、全労済・労金など事業団体の支え合い・助け合いによる活動が注目された。労福協の理念である『連帯と協同でつくる安心・共生の福祉社会』に向けた大きな活動と評価される。また、全国福祉強化キャンペーンを展開しているが、奨学金に関するアンケートや全国一斉相談の活動を継続しながら労福協らしさを出していくことが重要である。」旨の挨拶がありました。その後、花井事務局長などから「2018～2019年度活動方針の中間総括」と「2018年度会計報告・2019年予算(案)の提案があり満場一致で承認されました。また、2019年度の「70周年記念事業」と「2020年ビジョンの検証・見直しの方向性」について報告されました。

第2部は、「結成70周年プレ記念講演会」として、法政大学大学院連帯社会インスティテュート中村圭介教授より「労福協への期待～共助から連帯へ～」と題して講演がありました。4つの助として「自助、公助、共助、他助」について、労福協内の共助にとどまらず他助の活動展開が社会からは求められており、労福協にはその役割発揮を求めていると内容でした。



中国ろうきん支店紹介②



☆ 雲南支店〔矢野芳之支店長〕 職員数 7名

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

前回号から3回にわたって、日頃より会員の皆さんにご利用いただいている<ろうきん>の県内6支店を、広く紹介していくこととしています。2回目となる今月号は、「雲南支店」と「出雲支店」です。これを機に<ろうきん>をさらに身近に感じていただきたいと思ひます。

雲南支店は「日本さくら名所100選」に選ばれている斐伊川堤防桜並木がすぐ近くにあり、桜が満開の時期には町がさくら色一色になる雲南市木次町に位置しています。職員は7名、平均年齢51.2才と小規模ではありますが落ち着いた雰囲気でお客様をお迎えしています。会員組合、地域との深い絆を大切にして働く人たちに寄り添った営業活動をめざして取り組んでいます。



☆ 出雲支店〔常松美紀支店長〕 職員数 18名



☆ 大田代理店〔安達利文店主〕 職員数 4名

出雲支店はローンセンターを併設するとともに大田代理店を擁し、中国労金でも特殊な店舗としてろうきん運動を推進しています。出雲支店職員 18名と大田代理店職員 4名で「ろうきんを利用して良かった」と言われる勤労者福祉金融機関をめざし、労働者福祉協議会と協働して「家計の見直し運動」を中心に、顔の見える活動を展開しています。金融全般のお悩み事があればお気軽にご相談ください。

ZENROSAI NEWS



具体的には、交通事故に巻き込まれる児童を減らす社会貢献活動(呼称・「安全な街づくり活動」として、マイカー共済の見積もり件数(1~3月受付分)に応じて、「横断旗」を県内の小学校等へ寄贈する活動を展開しております。(寄贈は6~7月予定)

全労済では、2018年度から2021年度の中期経営政策である「Network・Zetwor」において、「お役立ち発想」と「共創活動」で、さらに組合員を支える活動を進めていくこととしており、2019年1月のマイカー共済制度改定を契機とした取り組みにおいて、その実践を目的とした見積もりキャンペーンを展開します。



「安全な街づくり活動」と連動したマイカー共済見積りキャンペーンを展開します。



中部支所(共済ショップ 出雲店)

中部支所・共済ショップ出雲店は県道161号線(広域農道)に面しており、近くには様々なジャンルの郊外型店舗や出雲ドームがあります。お買い物と合わせてお気軽にお立ち寄りください。

また、ここから出雲市内や大田市、雲南市、奥出雲町、飯南町の労働組合を訪問し、共済取り組みのご提案を行なっています。



Contact information for the Chubu Branch: 0853-21-0631, Mon-Fri 9:00-17:00, 693-0066, 出雲市高岡町512-1. Includes a map showing the location near the Chubu Branch and Iwami Branch.